



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
コード番号 9997 URL <https://www.belluna.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	156,278	△2.6	5,725	△27.3	6,930	△21.6	5,081	△5.6
2023年3月期第3四半期	160,454	△4.8	7,874	△22.9	8,836	△19.6	5,382	△30.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 8,528百万円(39.3%) 2023年3月期第3四半期 6,121百万円(△27.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	52.55	—
2023年3月期第3四半期	55.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	307,603	133,091	42.9
2023年3月期	285,592	126,436	43.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 132,002百万円 2023年3月期 125,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	10.25	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.25	20.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	208,500	△1.8	10,000	△10.9	11,000	△11.7	7,000	△5.6	72.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	97,244,472株	2023年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	545,353株	2023年3月期	554,248株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	96,694,426株	2023年3月期3Q	96,687,614株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除等により経済活動が正常化に向かうなか、個人消費やインバウンド需要は回復の動きがみられました。一方で、国外情勢悪化の長期化による原材料・エネルギー価格の高止まりや世界的な金融引締めによる為替変動により物価上昇が進行する等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループはアパレル・雑貨事業、化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業、データベース活用事業、呉服関連事業、プロパティ事業、その他の事業の8セグメントの強化に取り組んで参りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は156,278百万円（前年同期比2.6%減）となり、営業利益は5,725百万円（同27.3%減）となりました。経常利益は6,930百万円（同21.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益が発生したことなどにより5,081百万円（同5.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

[アパレル・雑貨事業]

アパレル・雑貨通販事業においては、円安の影響、原材料や資材の価格高騰により仕入原価や紙・印刷代等の広告費が上昇したことを受け、商品価格の見直しや紙媒体における発行量の抑制を行いました。これによりレスポンスが悪化し、再度商品価格の見直しを行ったものの大幅な改善には至りませんでした。また、紙媒体の発行量を抑制したため新規顧客の獲得が減少し、稼働顧客数も減少傾向となりました。この結果、売上高は58,844百万円（同16.5%減）となり、セグメント損失は1,539百万円（前年同期は1,811百万円のセグメント利益）となりました。

[化粧品健康食品事業]

化粧品通販事業においては、国内のECを中心とした新規顧客の獲得が効率的に行えており、また国内外での卸販売も好調に推移したことから増収増益となりました。健康食品通販事業においては、既存主力商品に絞った効率性重視の広告展開を行ったため減収となったものの利益率が改善し増益となりました。この結果、売上高は11,038百万円（同1.0%増）となり、セグメント利益は678百万円（同108.6%増）となりました。

[グルメ事業]

グルメ通販事業においては、外食・外飲み回帰傾向の影響を受け売上の伸びが一服しました。円安の影響、原材料や資材の価格高騰を受け仕入原価が上昇したため、一部商品価格の見直しを行いました。ワイン通販の原価率が悪化しました。また、サービスレベル向上のためにシステム刷新を行ったため電算費比率が上昇しました。この結果、売上高は25,274百万円（同0.5%増）となり、セグメント利益は1,044百万円（同31.5%減）となりました。

[ナース関連事業]

看護師向け通販事業においては、新型コロナウイルス感染拡大時に増加した特需顧客向けの紙媒体発行を抑制する等、広告宣伝費の適正化を図ったため減収となりました。一方で、円安の影響、原材料や資材の価格高騰により仕入原価は上がったものの広告宣伝費の適正化が功を奏し受注効率が大きく改善し増益となりました。この結果、売上高は9,800百万円（同8.7%減）となり、セグメント利益は449百万円（同118.3%増）となりました。

[データベース活用事業]

封入・同送サービスにおいては、新規クライアントの獲得強化、新たなサービス展開は順調であったもののアパレル・雑貨事業における紙媒体の発行量及び商品出荷件数の減少、既存クライアントの出稿減少により減収減益となりました。フルフィルメント受託サービスにおいては、新規クライアント数の増加などにより増収となりましたが人件費の高騰を受け減益となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客獲得の拡大により増収増益となりました。この結果、売上高は12,434百万円（同8.0%増）となり、セグメント利益は3,793百万円（同9.9%減）となりました。

〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、不採算店舗の撤退、既存店舗の来客数の減少、顧客購入単価の下落により減収減益となりました。また、衣裳レンタル事業においては、卒業式袴の早期受注会の実施による受注増に伴い、受注経費の増加が発生しました。この結果、売上高は14,716百万円（同7.2%減）となり、セグメント損失は749百万円（前年同期は513百万円のセグメント損失）となりました。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限や外国人の入国規制が緩和された影響から国内旅行、インバウンド需要、出張による宿泊需要が回復し、シティ系ホテルを中心に稼働率や客室単価等が大幅に改善しました。また国内新規稼働ホテルが加わったことなどにより、大幅な増収増益となりました。この結果、売上高は21,718百万円（同64.0%増）となり、セグメント利益は2,366百万円（同202.2%増）となりました。

〔その他の事業〕

飲食店事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限が緩和された影響により増収増益となりました。アパレル卸売事業においては、販売先の展開縮小が継続しており減収減益となりました。この結果、売上高は3,032百万円（同7.1%減）となり、セグメント損失は104百万円（前年同期は70百万円のセグメント損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比11,353百万円増加し、134,017百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が6,167百万円、営業貸付金が1,705百万円、その他流動資産が3,211百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比10,657百万円増加し、173,585百万円となりました。これは主に建設仮勘定が15,099百万円減少した一方で、建物及び構築物が21,054百万円、機械装置及び運搬具が1,613百万円、リース資産が1,872百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比22,010百万円増加し、307,603百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比3,007百万円増加し、67,594百万円となりました。これは主に、短期借入金が6,923百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,928百万円、電子記録債務が1,891百万円、1年内償還予定の社債が4,995百万円、契約負債が2,241百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比12,348百万円増加し、106,917百万円となりました。これは主に、社債が5,015百万円減少した一方で、長期借入金が14,482百万円、リース債務が2,190百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比15,356百万円増加し、174,512百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比6,654百万円増加し、133,091百万円となりました。この結果、自己資本比率は42.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年10月30日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,111	32,012
受取手形及び売掛金	10,397	16,565
営業貸付金	29,378	31,084
有価証券	170	502
商品及び製品	28,397	28,792
原材料及び貯蔵品	1,530	1,333
販売用不動産	5,780	5,154
仕掛販売用不動産	2,893	3,382
その他	12,817	16,028
貸倒引当金	△811	△838
流動資産合計	122,664	134,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,913	64,967
機械装置及び運搬具（純額）	6,681	8,295
工具、器具及び備品（純額）	1,797	2,009
土地	46,919	46,968
リース資産（純額）	156	2,029
建設仮勘定	30,027	14,927
有形固定資産合計	129,495	139,198
無形固定資産		
のれん	1,487	1,131
リース資産	352	875
その他	8,734	8,622
無形固定資産合計	10,574	10,628
投資その他の資産		
投資有価証券	14,371	14,928
長期貸付金	1,812	1,900
破産更生債権等	179	183
繰延税金資産	1,396	813
その他	5,724	6,589
貸倒引当金	△627	△656
投資その他の資産合計	22,857	23,758
固定資産合計	162,928	173,585
資産合計	285,592	307,603

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,723	15,651
電子記録債務	5,442	7,333
短期借入金	20,326	13,403
1年内償還予定の社債	20	5,015
未払費用	15,086	15,281
リース債務	239	506
未払法人税等	1,875	1,317
契約負債	3,756	5,998
賞与引当金	1,028	533
店舗閉鎖損失引当金	13	13
その他	3,074	2,539
流動負債合計	64,587	67,594
固定負債		
社債	5,020	5
長期借入金	85,462	99,944
利息返還損失引当金	389	398
リース債務	273	2,463
退職給付に係る負債	160	371
役員退職慰労引当金	249	249
資産除去債務	1,134	1,141
修繕引当金	94	116
その他	1,785	2,227
固定負債合計	94,568	106,917
負債合計	159,155	174,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,951	10,950
利益剰余金	108,663	111,786
自己株式	△462	△455
株主資本合計	129,765	132,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,702	2,625
繰延ヘッジ損益	106	319
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△6,071	△3,799
退職給付に係る調整累計額	0	△30
その他の包括利益累計額合計	△4,268	△891
非支配株主持分	940	1,089
純資産合計	126,436	133,091
負債純資産合計	285,592	307,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	160,454	156,278
売上原価	65,654	62,436
売上総利益	94,800	93,842
販売費及び一般管理費	86,925	88,116
営業利益	7,874	5,725
営業外収益		
受取利息	67	155
受取配当金	254	369
為替差益	690	928
助成金収入	107	41
その他	490	467
営業外収益合計	1,610	1,962
営業外費用		
支払利息	251	360
支払手数料	236	185
減価償却費	15	17
店舗閉鎖損失	74	85
その他	69	108
営業外費用合計	648	757
経常利益	8,836	6,930
特別利益		
固定資産売却益	8	2
投資有価証券売却益	14	655
投資有価証券償還益	-	7
特別利益合計	23	665
特別損失		
固定資産除却損	25	10
減損損失	0	6
有価証券評価損	61	-
投資有価証券評価損	241	0
特別損失合計	328	17
税金等調整前四半期純利益	8,531	7,578
法人税、住民税及び事業税	3,007	2,262
法人税等調整額	122	211
法人税等合計	3,129	2,474
四半期純利益	5,401	5,104
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,382	5,081

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,401	5,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	922
繰延ヘッジ損益	△142	212
為替換算調整勘定	739	2,319
退職給付に係る調整額	16	△30
その他の包括利益合計	720	3,423
四半期包括利益	6,121	8,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,090	8,458
非支配株主に係る四半期包括利益	30	70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ ィ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データ ベース 活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	70,249	10,928	24,958	10,725	11,432	128,294	15,759	13,188	3,211	—	160,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	230	1	182	11	77	502	90	56	51	△699	—
計	70,480	10,930	25,140	10,736	11,509	128,797	15,849	13,244	3,262	△699	160,454
セグメント利益(又は セグメント損失△)	1,811	325	1,524	205	4,209	8,076	△513	783	△70	△401	7,874

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳171百万円とのれん償却費△572百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ ィ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データ ベース 活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	58,742	11,037	25,037	9,800	12,396	117,014	14,645	21,637	2,981	—	156,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102	1	237	0	38	378	70	81	50	△581	—
計	58,844	11,038	25,274	9,800	12,434	117,393	14,716	21,718	3,032	△581	156,278
セグメント利益(又は セグメント損失△)	△1,539	678	1,044	449	3,793	4,425	△749	2,366	△104	△212	5,725

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳210百万円とのれん償却費△422百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。